



平成26年6月10日(火)
校長通心 No.27 校長 馬渡教二



若い涙を流しながら (宮澤章二)

苦しみを乗り越えるための 若い力は
苦しみながら鍛えつづけるほかない

なみだは 流すために湧くのだから
苦しい時には いくら流してもいい

若いなみだをながしながら
みずからを鍛える青春の努力は
たとえ がむしゃらの醜態 と見えても
決して 恥ずかしい風景ではない

人類のすべてが 濁りのない涙を流した
人類のすべてが 涙をみずからめぐった
涙で失われるものなど 何一つなかった

己に勝つ力を鍛えながら ぼくらは
ふと 虹を見ている自分に気付く

今年もまた、夏季大会が近づいてきた。3年生にとっては、中学校生活の部活動の総決算となる「最後の闘い」が幕を開ける。県大会へこまを進めることができなければ、泣いても笑っても中学校での部活にピリオドをうたなければならない。中学に入学して、2年と3ヶ月間頑張ってきた精いっぱい力のぶつかり合いが6月21日(土)から各会場で展開される。昨年も記したけれど、最後だからこそ、どの会場も「真剣勝負の場」になる。『真剣』は「まこと」の「つるぎ」で剣を交える戦いであり、それは「生死をかける」という意味を含んでいる。だから、**勝者も敗者もお互いに敬意を払わねばならない大会**だと思っている。1、2年生は先輩方の闘いの中からたくさんのお話を学んでほしいし、3年生は3年間積み重ねてきたものを全て出し切り中学校生活の部活動の総決算にふさわしい「闘い」をしてきてほしいと願う！！応援旗に刻まれた「燃える市川魂」には「雑草魂」に似た響きを感じる。踏まれても踏まれても何度も起き上がるたくましさは雑草だ。日照りの荒地地でも、陽のあたらない湿地でも、たとえアスファルトに覆われようともその隙間から根を張る強さがある。見た目の美しさで人を感動させることはできなくても、培った「生きる力」で「生き方」で人を感動させる力が『市川魂』にはあると思っている。市川中学校に関わるすべての人たちがこの大会を通しての君たちの健闘を、そして成長を心から願っているのである。**応援も行進も、勝利も敗北も、失敗も成功も、みんなが本気でぶつかるなら、必死でぶつかるなら、必ず今の君たちを成長させてくれるはずだ。**

5月に、修学旅行 & 校外学習という行事を通して各クラスや学年の仲間や集団の良さ、そして改善点に目を向けながら、個と集団の絆を成長させてきた。また、7月には「合唱コンクール」という行事を通過することで、さらに学級集団は成長していくはずである。この夏季大会という大きな通過点の最大の特徴は、クラス集団、学年集団、そして市川中という集団にとどまらず、他校生、そして対戦相手のチームや観戦している生徒、応援団、係の生徒など、たくさんの「ひと」に出逢えることである。選手として、あるいは控え選手として、あるいは応援団として、市内27校の集うこの大会に参加することは、「ひと」を見つめる眼をどんどん拡大させ、視野を広める絶好のチャンスになるはずである。そういう意味で、出逢った人たち全てに目を向けてきてほしい！！

各部とも開会式後、顧問の先生や引率の先生の指示のもとに各会場に移動し闘いが始まる。もちろん勝負だから「勝ち負け」がついてまわるのだけれど、勝ち負け抜きに、精いっぱいプレーしている選手や完全燃焼している選手に心奪われる瞬間が必ず誰にでもあるはずである。(なぜなら前述したとおり最後の真剣勝負だから…) 鮮やかな出会い、息をのむ場面、心ふるわせる瞬間に必ずぶつかることができるはずである。何十年たっても、若人たちが極限で飛躍する時の眼の輝きは絶対になくならない！！…ふと、周りを見たとき、さわやかな印象の人、感動する場面、そういうシーンをさがそうと眼を輝かせてほしい。応援でがんばっている生徒でもいい…、会場のゴミを拾っている生徒でもいい…、負けても精一杯プレーした生徒でもいい…、市川中生…、他校の生徒… etc.

そして、目に触れたすべての人たちの中で「さわやか」に感じた「ひと」、「感動した場面」を市川中学校という集団に持ち帰ってくるのである。とかく、勝ち負けの一点に集中するのが、競技大会の常なのかもしれないけれど…、もちろん、それはそれで大切ではあるが、もうひとつつくらみを持った見方で見つめることによって「一生懸命」の美しさとか「努力」のすばらしさとか「ひと」の精いっぱいさから受ける「さわやかさ」をみんなで見つけ合えるような気がする。…そして、その持ち帰ったすばらしいシーンを、今度は自分のさわやかさにつないでいけたら絶対にひとまわり大きくなるはずだ！！

残り10日！！夏季大会に向けた応援メッセージをみんなに送ろう！！

- ①八戸一になろう。青森県一になろう。東北一になろう。日本一になろう。一番になりたいと思わない者は一番になれない！
- ②Enjoy Sports！（スポーツは明るく、楽しいもの。自分の部活を楽しめ！）
- ③礼儀正しくあれ。どんな人に対してもどんな場においても、通用するのは人間性。一人一人の人間性が市川中生の評価を決める。挨拶は人との最初の勝負！
- ④自分一人で生きていると思うな。自分一人でプレーをしていると思うな。周りの者に感謝の気持ちを持って。感謝の気持ちは「ありがとう」という言葉で伝える。世の中、それほど以心伝心で気持ちが伝わることはない。言葉は使って初めて活きる！
- ⑤時間厳守は人の信頼を勝ち取る最大の武器。時間を守ることで組織が成り立つ！
- ⑥個と全体の力。試合に出たら個人の技術、精神力を高めるための最大の努力をせよ。同時にチーム全体の流れ、ムードを考えてプレーせよ。一人一人がキャプテンだと思っているチームのみが勝つ。自分がやって50、人をやらせて50が、100以上の力となる！
- ⑦他人の悪口を言う者の周りにはいつも悪口ばかり言っている者が集まる。自分の不運を嘆く者の周りにはいつも同じ類いが集まる。結果とは関係なく自分がやっている事にプライドを持って。一人ひとりが誇り高き同士だ！
- ⑧グラウンド、体育館、用具は大事に。大切にしてくれ。最後、神様が微笑んでくれる！
- ⑨闘争心を持って。ただし、相手を口で罵倒するな。相手の好プレーには拍手を送れ！
- ⑩グラウンドでは上級生、下級生は対等。しかし、後輩は先輩に敬意を払い、先輩は後輩にいろいろと教え、叱り、同時に模範となる練習態度、学習態度を示せ！
- ⑪理論武装をせよ。君たちは将来指導者になるかもしれない。子ども達に正しい事を教えるために、ルール、技術論、フォーメーション、勝負哲学、体の構造、医学知識、栄養学、運動力学を知れ。「身・技・体・学・伝」である！
- ⑫返事は「ただ」である。広いグラウンドでは大きな声と動作がコミュニケーションだ！
- ⑬凡人は習慣で一日を送る。天才はその一日が生涯である。毎日が本番。大会前だけ盛り上がり一番になれるはずがない。泥棒に練習試合はない！
- ⑭今の自分を許すな。自分のプログラミングが出来ない人間が負ける！
- ⑮文武両輪。カツコイイ生き方を目指せ！
- ⑯自分の評価は自分でしろ。人の目、人の評価を気にしてばかりいるとパイプが詰まる！
- ⑰自分がどんなに頑張ってもダメだという相手でも、絶対に負けるのを嫌え。勝ち負けの勝負にはとことんこだわられ。負けても淡々としている奴は勝てない。大差で負けてても逆転すれば世間はそれを奇跡と呼ぶ。自分で自分に逃げ道を作るな！（コツコツと真面目だけじゃ勝負できない。とことん勝負師になれ）
- ⑱男は危機に立って初めて真価が問われる。チームもこそとここで点をやらなきゃいい。最後は勝って結果を残す！
- ⑲雨と風と延長、悪条件下では絶対に負けない！
- ⑳いつまでも、とことんやっつけやろうじゃないか！ エンドレス魂！！市川魂！！

